

京都新聞

きらりin守山

お楽しみ子どもシアター

京都新聞社会福祉事業団は、
 京都府、滋賀県内の子どもたちに楽しいひとときを
 過ごしてもらおうと、『お楽しみ子どもシアター』を開催します。
 福祉施設の子どもたちも招待し交流を深めてもらいます。
 シルエット影絵や光る影絵などの公演に
700人を無料招待します。



とき

2018年12月23日(日)

午後2時から／開場は午後1時20分(劇約85分)

ところ

守山市民ホール(守山市三宅町125)

対象

京都府・滋賀県に在住の子どもたちと保護者700人

催し

京都を拠点に保育園・幼稚園・小学校・児童館・支援学校や地域のイベントなどで影絵・人形劇の公演、乳幼児親子プログラム(ワークショップと人形劇)などを展開する「影絵人形劇団むむのこ」によるシルエット影絵や光る影絵などの公演。



会場の案内図



申し込み方法

往復はがきに保護者と子どもの名前(参加申込者全員)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、参加希望人数を明記し

〒604-8577 京都新聞社会福祉事業団「子どもシアター」係へ

※はがきの記入は、消すことができる鉛筆やフリクションペンなどを使用しないでください。
 ※1家族につき1通。子どもだけの入場はご遠慮ください。

注意事項

- 返信はがきで連絡をします。全て指定席になります(座席の変更はできません)。
- 返信はがきが座席券になりますので、当日は必ず持参ください。

問い合わせ▶京都新聞社会福祉事業団 TEL.075-241-6186(土・日・祝を除く)

締め切り▶12月17日(月) ※ただし定員になりしだい締め切ります。

主催 公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、京都新聞

協力 龍谷大学ボランティアサークル社会福祉研究会S.W.A.P、同志社大学ボランティアサークルBetter Life Creator

わたしたちは一人の力で生きることはできません。

京都新聞社会福祉事業団は、「ともに生きる」をテーマに、

一人ひとりのいのちを大切に、みんなが助け合って生きる社会をめざしています。

1965 (昭和40) 年に設立以来、京都・滋賀で、地域に密着した福祉事業を展開しています。

2010 (平成22) 年7月1日には、公益財団法人に移行し、

皆さまからの寄付金をもとに引き続き、多くの地域福祉事業を実施するとともに、時代変化のなかで地域から要請される事業の推進に積極的に取り組んでいます。

皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いします。

出演団体プロフィール

影絵人形劇団むむのこ

(<http://www3.to/mumunoko/>)



1999年に結成。京都を拠点に幼稚園や保育園、小学校、児童館などで影絵や人形劇を上演。子どもと関わる指導者、保育や幼児教育を学ぶ学生を対象に、劇やあそびの講演・講座を展開している。

子どもたちがコミュニケーションや表現することを楽しみ、人と関わる力を育てる一助となれば…そんな思いで様々な形態の作品づくりに取り組む。

また、ヨーロッパで盛んなブラックライトを駆使したブラックライトシアターを“光る影絵”と称し、日本のブラックライトシアターとして展開。

この独自の表現方法が障害児者施設や病院、大学などで高い評価を受け、上演の場は広がっている。



プログラム

14:00 ~前半の部~

ごあいさつと自己紹介

光と影であそぼう

・シルエットクイズ “これな～んだ”

・手だけで作る手影絵いろいろ

・ててての体操

・手影絵をやってみよう!

14:40 休憩

14:50 ~後半の部~

光る影絵「おさんぽ・ぽ・ぽ・ぽ」

15:25 終演

光る影絵「おさんぽ・ぽ・ぽ・ぽ」
(作品紹介)



ゆっくりのんびり歩いていると
思いがけない出会いに“ぽ”
いつもと違う景色に“ぽ”
ワクワク・ドキドキ・おもしろい!
そんな心のときめきに“ぽ”

～子どもの目線で過ごすゆったりとしたひとときを～

子ども達にとっておさんぽは、
安心できるエリアで繰り広げられる小さなちいさな大冒険。
好奇心をくすぐる驚きと発見の連続☆
より早く、効率的に結果を求めがちな
現代(いま)だからこそお届けしたい作品です。
目の前で起こるありのままを楽しむ“おさんぽ”が、
子ども達の心に多くのものを育むことを信じて…
さあ、皆んな一緒にでかけよう!

 公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

〒604-8577 京都市中京区烏丸通夷川上ル京都新聞社内 TEL.075-241-6186 FAX075-222-2515

<http://www.kyoto-np.co.jp/fukushi/index.htm>